

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)の
メールマガジン第155号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. これからの活動情報
3. コラム『口火を切るという能力』同志社大学商学部 教授 吉川英一郎 会員

1. トピックス

◆「大学対抗交渉コンペティション 20周年記念誌」をウェブサイトにて公開しました。
製本版送付をご希望の方は、GLEA事務局までご連絡ください。
<https://www.negocom.jp/>

◆只今、弊社ウェブサイト改修中につき、ページが表示されない場合がございます。
皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

2. これからの活動情報

◆第21回大学対抗交渉コンペティション
日 時: 11月19日(土)・20日(日)
場 所: 上智大学及びオンライン会議

3. 今月のリーダーシップ情報 【コラム／column】

同志社大学商学部 教授
吉川英一郎 会員

『口火を切るという能力』

GLEAやOSIPPとの関わりから、リーダーシップと交渉の両方に必要な要素に気づいたので書き留めておきたい。それは「口火を切る」という能力である。口火を切る勇気という言い方でも良いのだが、これは、心がけ次第で涵養できる一方、企業などの組織が成長戦略を考える際に、「口火を切る」ことのできる人材を確保すべきであるという点で、「能力」と呼びたい。

「口火を切る」とは、一番先に物事を始めることを示す慣用句である。語源は、火縄銃の種火の着火にあるようで、類語の「先陣を切る」などよりも特に、最初に発言することを指して多く用いられるようである。

会議でも授業でも、知らない人の多い公式の場で発言するのは緊張するし最初の発言は全出席者から注目される。その質が高くなければ失笑を買って恥をかく。多くの人が口火を切るのは大

役であると考え、しり込みしがちである。それでも、手を挙げて最初に発言する人はいる。習慣が心がけか、そのような人はいつも一番に発言している。

会合が始まって間もない時間帯では出席者の集中度が高く、口火となった発言を巡っては皆が一斉に考えるから、発言者は一旦、その会合の中心を占めることができ、それはその後の会合を主導するための絶好のポジションともいえる。最初の発言は、交渉であればアンカリング効果も生じる。また、最初の発言者は、相当の自信のある実力者であろうと他の聴衆に一目置かせることができ、その後の議論や交渉で優位を占められる。ゆえに、これはリーダーとしての資質の1つだろうし、交渉術の上でも有効な技能であると思われる。

ところが、和をもって貴しとなす日本社会に生きる人々は一般に、口火を切ることを自制しがちである。それは、小・中・高という教育課程において、集団から突出するのはいじめの標的となりやすく危険だとか、あるいはダサいと評価されるとか、一般に学習するせいかもしれない。大学ともなると、教員がクラスで「意見のある人、意見を言ってください」と呼び掛けても誰も発言しないという場面は珍しくない(通常はこのあと誰かを指名することになる。するとその学生は自分の意見をちゃんと言う)。手を挙げさえすれば口火を切れるのだがそうはしない(最初の発言者というのはポジティブな手柄ではなく、ネガティブなレッテルという評価なのか)。

組織を維持するためには、方針を決定したり意見を表明したりしなければならない。内容の適切さや構成員が動いてくれるかどうか(リーダーの人徳や組織の規律など)もリーダーシップの問題であろうが、まず発言することから始まる。ところが、日本の組織には「口火を切る」ことが苦手な人材ばかり集まっている。これでは、日本の組織は国際社会で苦戦を強いられるだろう。逆に、「口火を切る」ことが得意な人は、日本の組織では貴重であり、出世しそうである。

学生の人達に自身に口火を切る能力があるのかどうかを尋ねてみたい。能力は本当はないのか。能力はあるが発揮しないのか。発揮しないのは能力がないということではないのか。日本の将来を考えると、「口火を切る」が有用な能力であると謳って、それを開発することを考える必要があるように思う。

情報募集中

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さい。

本メールマガジンについて

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は
「配信不要」と明記して glea@npo-glea.org 迄ご連絡下さい。

=====

発行元: NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者: 野村 美明

編集者: 事務局 神谷 留奈

(TEL) 070-6560-2633

(FAX) 06-6853-3081

(E-mail) glea@npo-glea.org